

1. 研究課題名

「環境負荷低減に向けた公共交通を主体としたパッケージ型交通施策に関する提言」

2. 研究代表者氏名及び所属

青山吉隆（京都大学）



3. 研究実施期間

平成 17～19 年度

4. 研究の趣旨・概要

わが国をはじめ、世界各国の都市においては、実行可能かつ効果的な CO2 削減施策として、運輸部門においては、自動車交通利用から環境負荷の少ない公共交通機関利用への転換を進めることが喫緊の課題となってきた。しかしながら、社会基盤整備に多額のコストや時間を要することや、自動車利用に過度に依存したライフスタイルの変更が容易でないこともあり、大きな進展がみられないのが現状である。

本研究課題では、欧米で発展してきた LRT（Light Rail Transit：低床型路面電車）等の公共交通を、わが国をはじめとするアジア諸国へ導入するためのパッケージ型交通施策の提案を目指す。なお、パッケージ型交通施策とは、ロードプライシング、トランジットモールなど、対象地域の社会・経済状況に合わせた多様な交通需要マネジメント手法の効果的な組み合わせである。具体的には、環境、都市・交通計画、行財政、法学の研究者及び実務者が有機的に連携し、それら施策の環境への影響や都市の活性化を予測するシミュレーションモデルの理論構築をはじめ、いくつかの事例都市への LRT 導入を想定した実践的な効果検証を行い、わが国に適した環境にやさしい公共交通を導入するための技術、行財政、法制度、教育、交通サービスに関する施策を提案する。

本研究課題で得られる成果として、ゆっくりだが着実に、「自動車利用を抑制し、公共交通機関利用を促進する」ことが社会的善であるという個人の価値観やライフスタイルの確立を可能とし、持続可能な環境政策に貢献できる。また、わが国での成功事例を通して、経済発展に伴い、自動車利用が急増しているアジア諸国への波及も大いに期待できる。

5. 研究項目及び実施体制

（1）先進都市における交通施策と交通行動に関する研究

我が国への LRT 等の導入技術・制度の方向性に関する研究 （株）日建設計

先進都市における交通施策と交通施策と交通行動に関する研究

((株)まち創生研究所)

（2）環境負荷低減に向けたパッケージ型交通施策に関する研究

（京都大学）

（3）LRT 導入による効果検証に関する研究

LRT 導入を中心としたパッケージ型交通施策の効果検証

（岡山大学）

公共交通施設整備に対する効果分析

（大阪大学）

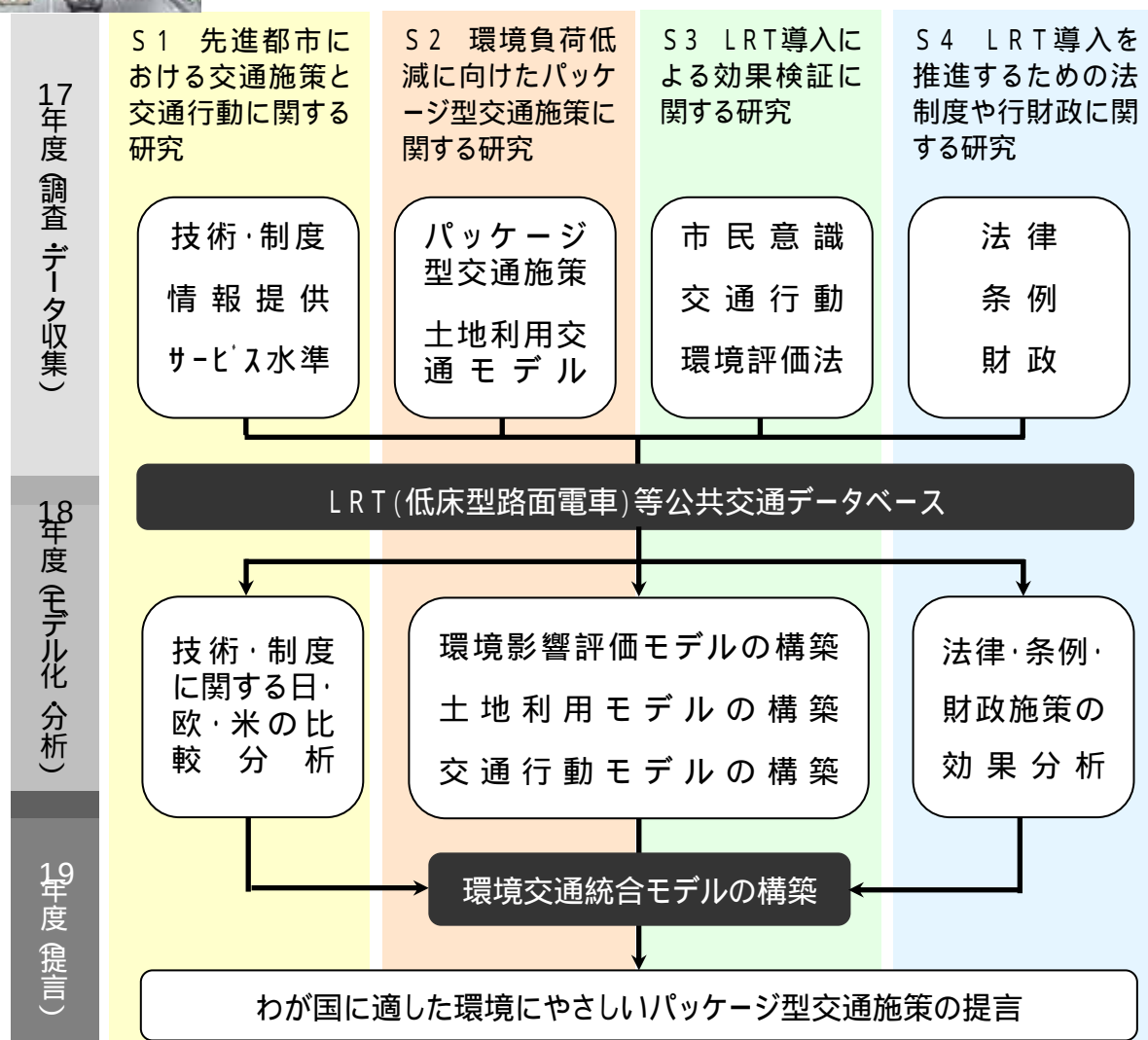
（4）LRT 導入を推進するための法制度や行財政に関する研究

（日本大学）

6. 研究のイメージ



環境負荷低減に向けた公共交通を主体とした パッケージ型交通施策に関する提言



【期待される成果】

- ▶ 運輸部門での環境負荷低減に貢献しうる LRT とパッケージ型交通施策の提案
- ▶ 施策の効果・予測・評価を可能にする環境交通統合モデルの構築
- ▶ 政府の公共交通補助制度への提言
- ▶ 行政と市民協働の環境教育による個人の意識・ライフスタイルの変容と、持続的かつ着実な環境保全への貢献